病理診断業務についてのアンケート調査

病理医と病理検査技師が職能集団として、より良好な関係を築くために、病理検査士制度（PA と略す）導入の是非を含めた諸問題を検討することを目的として、日本病理学会企画委員会（坂本穆彦委員長）の ad hoc 小委員会として「病理検査技師との関係に関する小委員会（中島　孝委員長)」が昨年度から発足し、討議を行っております。今年度もこの小委員会が継続となりましたので、皆様方の病理診断業務に関する忌憚のないご意見を伺い、今後の小委員会活動の参考にさせて頂くことになりました。また、この結果は来年の春の病理学会でのＷＳ「病理技師と病理医の将来関係」でも議論させて頂きます。よろしく、ご協力の程、お願い申し上げます。

１．あなたは病理専門医ですか？

a)　はい
b)　いいえ

２．あなたの病理医としての現状をお知らせ下さい。
a)　１人病理医です
b)　１人病理医ではないが、病院病理医です
c)　大学に勤務しています（病理部も含む）
d)　その他（　　）

３．あなたの主たる業務は病理診断ですか？

a)　はい
ｂ）いいえ

４．現在、日本病理学会の「病理検査技師との関係に関する小委員会」では病理医と検査技師の将来について、病理検査士（ＰＡ）制度導入の是非を含めて議論しているのをご存じでしょうか？
a) 知っている
b) 知らない

５．昨年度の「病理検査技師との関係に関する小委員会」では、「病理診断に関する最終責任は病理医にあり、全ての病理業務は病理医（病理専門医）の指導の下に行うべきである」という結論を提言しました。この結論についてのあなたのお考えをお知らせ下さい。

a）賛成です
b）賛成できない
（賛成できない理由をお聞かせ下さい。
）

６．現在、技師に任せている業務（細胞診を除く）の記号を○印で囲んでください。
（複数回答可）

a.　検体受付などの事務業務、b.　生検材料の処理、c.　薄切・一般染色などの標本作製、d.　免疫組織化学的染色法、e.　手術材料の切り出し、f.　解剖介助、g.　解剖執刀、h.　解剖診断、i.　術中迅速凍結切片作成、j.　抗酸菌染色や真菌染色などにおける菌体確認、k.　免疫組織学的染色法の結果判定、l.　組織標本全般のスクリーニング、m.　消化管生検のみの組織標本スクリーニング、n.　組織診断、o.　臨床医への結果報告、p.　電子顕微鏡の標本作製、q. 電子顕微鏡の所見読み、r. 遠隔病理診断の送信、
s. その他（　　）

７．病理技師に上記で選択された**以外の**業務を委譲する必要性があるかないか、について、あなたのお考えをお聞かせ下さい。
a）積極的に業務委譲が必要
b）　一定の条件が整えば、必要
c）　業務委譲は必要ない

８．[業務委譲が必要だ]と回答された方（つまり、a)、b)を選ばれた方）は以下の設問にお答えください。

１）どの業務が委譲可能でしょうか。設問６の既に技師に任せている業務は除いて下さい。下記の選択項目から記号を選び、○印で囲み、お答えください。（この中にはある程度の教育を必要とする業務も含まれています)。（複数回答可）

a.　検体受付などの事務業務、b.　生検材料の処理、c.　薄切・一般染色などの標本作製、d.　免疫組織化学的染色法、e.　手術材料の切り出し、f.　解剖介助、g.　解剖執刀、h.　解剖診断、i.　術中迅速凍結切片作成、j.　抗酸菌染色や真菌染色などにおける菌体確認、k.　免疫組織学的染色法の結果判定、l.　組織標本全般のスクリーニング、m.　消化管生検のみの組織標本スクリーニング、n.　組織診

断、o.　臨床医への結果報告、p.　電子顕微鏡の標本作製、q. 電子顕微鏡の所見読み、r. 遠隔病理診断の送信、
s. その他（　　）

２）委譲する業務に関して、あなた自身が技師の教育に従事することは可能ですか？

a)　可能
b)　不可能
c)　わからない

８．　病理学会あるいは小委員会に対する意見がありましたら、お書きください。